

天文講演会

宇宙生命を探る

2024

9/21 SAT 16:00~17:10

会場 千葉市科学館 7階プラネタリウム
定員 先着200名
対象 小学生以上 ※未就学児の入場不可
料金 無料
参加方法 2次元バーコードまたは下記URL
から申込フォームにアクセスして
ご応募ください
<https://forms.gle/BioASD61kN3fMWHK9>

申込期間 8/17(土) 9:00 受付開始・先着順

※残席分は、当日12時より7階サイエンスアート広場にて整理券を配布します。
※事前予約された方も、7階サイエンスアート広場にて受付を行います。
※講座開始後のご入場は出来ませんので、ご了承ください。

講師 竝木 則行 (なみき のりゆき)

国立天文台
RISE月惑星探査プロジェクト
プロジェクト室長 / 教授



///

この宇宙に生命はいるのか？近年では私達の太陽系以外の恒星に次々と惑星系が見つかり、中には地球によく似た軌道の惑星も見つかっています。しかし、単純に恒星からの距離や液体の水の在り無しだけで生命の存在を決めることはできない、とこの地球の歴史が教えてくれます。地球生命は何度も絶滅の危機を乗り越えて進化してきました。まずは地球史を振り返って、生命が生まれ、生きのびるために何が必要だったかを考えてみましょう。そして、火星や氷衛星がはたして生命のゆりかごであったのか？について考えてみたいと思います。

講師プロフィール

東京大学理学部地球物理学科卒業後、マサチューセッツ工科大学にて博士号取得。九州大学理学部助手、千葉工業大学惑星探査研究センター副所長を経て、現在国立天文台RISE月惑星探査プロジェクト室長。専門は惑星や衛星の内部構造と進化。月探査機「かぐや」の重力データ解析や、小惑星探査機「はやぶさ2」のレーザ高度計の開発に携わったほか、火星衛星探査計画「MMX」によるフォボス内部の研究をしている。